

## 令和4年度

### 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

社会福祉法人 誠和

グレースケアあじさい

グレースケアあじさい

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	職員 14 名
--------------------	------	---------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総9数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	8 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカルテ (電子カルテ) に申し送るべき事項の入力を徹底し、スタッフ間の情報共有に漏れがないようにする。</li> <li>・毎月のカンファレンスによるサービス見直しに際し、各スタッフへの情報収集を紙面回覧で行い、当日不在のスタッフからも情報が得られるようにする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し送る必要がある情報をケアカルテに入力し、申し送りボタンを押す習慣はついてきている。</li> <li>・紙面回覧により情報収集できている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6 人	8 人	0 人	0 人	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4 人	10 人	0 人	0 人	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	9 人	5 人	0 人	0 人	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	10 人	1 人	0 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカルテに必要事項を入力し、情報共有することができている。</li> <li>・毎月のカンファレンスで問題点やサービス内容の検討し、サービス提供することで改善できている。</li> <li>・前回よりも申し送る事項をケアカルテに入力する習慣が付き、スタッフ間で情報共有ができている。</li> <li>・カンファレンス実施後の見直し点について、次回カンファレンス時に振り返り確認をするようにしている。</li> <li>・利用者に戸惑いや混乱がある場合は、さりげない声かけで安心してもらえるように関わっている。</li> <li>・職員同士での情報共有はしっかりと行うことができている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の希望は確認できているが、本人が望んでいることが十分に確認できていないと感ずることがある。</li> <li>・カンファレンス実施前までの情報収集が不十分なことがある。</li> <li>・改善計画にあるケアカルテの活用が、まだ十分に徹底できていないと思う。</li> <li>・細かいことでも利用者に関わる情報が口頭の申し送りのみに留まり、ケアカルテに記載されていないことで全体に周知することができないことがある。</li> <li>・(新型コロナ禍で) 面会が制限されるため、なかなか家族との接点がとれない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に関わる重要な申し送り事項は漏れなくケアカルテに記入することで全スタッフに周知する。</li> <li>・毎月のカンファレンスによるサービス見直しに際し、各スタッフへの情報収集を紙面回覧で行い、当日カンファレンスに参加できないスタッフは確実に情報を記入するようにする。</li> <li>・面会中止期間中は積極的にオンライン面会を推奨する。</li> </ul>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日(金)
2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	9人	2人	0人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンス後、議事録を速やかに作成し全職員へ回覧することで情報共有を図り、ケアの統一化を促進する。</li> <li>新型コロナ禍でレクリエーションが単調化しやすいが、YouTubeなどを活用したり創作活動を充実させることでレクリエーション活動の充実を図ることとする。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンス開催後、近日中に議事録を作成し回覧することができている。</li> <li>レクリエーションでYouTubeを活用するなど工夫をしてレクリエーションの充実化を図っている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1人	10人	3人	0人	14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2人	10人	2人	0人	14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	9人	5人	0人	14人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1人	9人	3人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンス議事録は会議当日に作成し、職員に回覧することができている。情報共有ができ、ケアの統一化に役立っている。</li> <li>日々の業務では職員から気が付いたことなど情報提供があった時は早期に判断しケアに活かしている。</li> <li>単調な生活になりがちだが、できるだけ楽しみをもっといただけるよう、レクを試行錯誤している。</li> <li>本人の「～したい」を意識して関わるようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者のしたいことに対して、新型コロナ禍で実施できていないことがある。</li> <li>レクリエーションについて、創作活動の内容をスタッフ間で共有できていない。</li> <li>個々に行き届いた支援ができていない。</li> <li>個々の目標の全てを把握することができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>居宅サービス計画書及び小規模多機能型居宅介護計画書の内容を理解したうえで支援する。</li> <li>カンファレンスでの協議事項について議事録を確認することで理解したうえで支援する。</li> <li>レクリエーションの実施について、レクリエーションを担当するスタッフ間でコミュニケーションを密にとり、スムーズに創作活動を支援できるようにする。</li> <li>YouTube動画を活用して効率よくレクリエーション活動を行うようにする。</li> </ul>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日(金)
3. 日常生活の支援	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	2人	0人	14人

前回の改善計画	・ケアカルテ(電子カルテ)の日々の記録に加え、対応した際の詳細は記録も漏れなく行うことができるように、習慣づけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアカルテの利用により、日々の記録は取れているが、特記事項など細かい部分の記録が十分とはいえない。ヒヤリハットなどの口頭報告や検討はできているが記録に残らないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	4人	8人	2人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7人	7人	0人	0人	14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0人	13人	0人	1人	14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6人	8人	0人	0人	14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6人	8人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の体調変化時には早期対応し、他の職員に指示もできている。</li> <li>・申し送りを実施し、継続してケアできるようにしている。</li> <li>・ケアカルテへの入力、申し送りはできている。</li> <li>・体調面や気が付いたことについても記録をし、職員間で共有できるように努めている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子カルテでの記録が簡潔すぎるため、その時の状況を十分に伝えきれていない。</li> <li>・本人の声にならない声をうまく理解できず、求められていることが理解できていない。</li> <li>・利用者個々のこれまでの生活習慣が十分に把握できていない。</li> <li>・生活環境に制限があるため、全てを受けいれることができない状況がある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアカルテへの決められた記録だけではなく、その時々状況についてもきちんとケアカルテに記録として残し、全スタッフへ周知するようにする。</li> <li>・定められた訪問時間を活用して、家事支援や身体介護だけでなくコミュニケーションを図る場として活用する。把握した内容を記録に残し、全スタッフに共有を図る。</li> </ul>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日(金)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	5人	2人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ禍でレクリエーションが単調化しやすいが、YouTubeの活用や、創作活動を充実させることでレクリエーション活動の充実化を図るとともに、季節感のある行事の企画など工夫をして実施をしていく。</li> <li>・新型コロナ禍の状況にもよるが、可能であれば地域へ出かけていく行事を企画して実施する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTubeの活用や創作活動に力を入れ、文化祭にも出展をした。</li> <li>・コロナ禍のため外出計画を控え、地域の方の訪問も中止となる。コロナ禍で多くの期間で対面面会ができなかった。オンライン面会を推奨したが、活用された方は一部の方にとどまった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1人	9人	4人	0人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	4人	8人	1人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	7人	6人	1人	14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	1人	8人	5人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で面会中止が続いているため、ご家族との電話連絡の際や生活物品を持参された際に日頃の生活状況を報告するようにしている。</li> <li>・季節感のある行事の中で、外出できないストレス軽減できるように努めている。</li> <li>・送迎時には状況を観察するようにしている。家族と関わられるように支援している。</li> <li>・コロナ禍ではあるが、少しでも家族とのかわりが取れるようにオンライン面会を勧め、活用してもらえよう努めた。</li> <li>・本人のこれまでの生活スタイルはフェイスシートをもとに把握するようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため地域と繋げる支援が難しい(介護保険サービスだけでなく地域のインフォーマルサポートの活用を含めて)</li> <li>・ボランティアの受け入れも中止しているため、ボランティア活動を通じた地域交流ができなかった。</li> <li>・地域との関わりや地域行事への参加ができてない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ禍でレクリエーションが単調化しやすいが、YouTubeの活用や、創作活動を充実させることでレクリエーション活動の充実化を図るとともに、季節感のある行事の企画など工夫をして実施をしていく。</li> <li>・新型コロナ禍の状況にもよるが、可能であれば地域へ出かけていく行事を企画して実施する。</li> <li>・新型コロナの取り扱いが変わる(2類相当→5類)ことを見越し、喫茶の再開やボランティアの受け入れなど地域との交流する機会を企画する。</li> </ul>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日（金）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	職員 14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	4人	8人	14人

前回の改善計画	<p>・地域の新型コロナ感染状況にもよるが、地域交流カフェや地域の行事が再開されるようになった際は、地域行事に参加できるように企画する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ禍のため、地域交流カフェも中止となる。利用者の状況により「通い」時間の変更など、小規模多機能の特徴を活かした対応はできた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0人	0人	8人	6人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6人	7人	0人	1人	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6人	8人	0人	0人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7人	7人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・できる限り状況に応じた対応はできていると思う。利用者の身体面、精神面を考慮して通所、訪問、宿泊の調整を柔軟に対応するよう心掛け、小多機の特徴を活かした支援はできていると思う。</p> <p>・サ高住の入居者に対しては、体調不良時には看護師も居室を訪問して状態観察を行うようにしている。</p> <p>・利用者の変化は申し送りやカンファレンスを通じて共有でき、支援にも活用することができている。</p> <p>・レクリエーション活動を披露する場として文化祭に出展をした。展示作品をみた地域の方からも多数お褒めの言葉をいただいた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・コロナ禍が続いたため、昨年と同様に地域交流がほとんどできなかった。家族との外出希望をはじめ、感染対策のため制限をせざるを得なかった。</p> <p>・地域交流カフェはコロナ禍が続いたため、実施することができなかった。</p> <p>・地域の資源を十分に把握しきれていない。</p> <p>・自事業所での柔軟な対応は概ねできていると思うが、コロナ禍もあり地域との関わりが希薄になっているように思う。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・新型コロナの取り扱いが変更となる見込み（2類相当→5類）であることを踏まえ、感染状況にもよるが地域交流カフェを再開したり、地域の行事が再開されるようになった際は、地域行事に参加できるように企画する。</p>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日(金)
6. 連携・協働	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	5人	9人	14人

前回の改善計画	<p>・新型コロナ禍の状況にもよるが、他部署とも連携し地域のサロン活動へ参加し交流を図る。また、地域行事への参加などの外出行事を企画したり、季節を感じていただける内容を中心に企画をして取り組む。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ禍のため、地域への外出を控えたり、地域のサロン活動へも同行することができなかった。地域行事への参加などの外出行事を企画することができなかったが、季節を感じていただける内容を中心に企画をして取り組んだ。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1人	2人	1人	10人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	1人	3人	10人	14人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0人	0人	4人	10人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	0人	0人	14人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議などの必要な会議は、感染対策を整えたうえで行うことができた。</li> <li>・新型コロナ禍で地域行事は参加できなかったが、敷地内に桜やあじさいをみに行くなど、季節感のある年間行事を企画することで、その季節に応じた活動を行うことができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により外出を控えたため、地域行事や活動への参加ができなかった。</li> <li>・ボランティア活動の受け入れは利用者と直に接する活動は制限せざるを得ず、地域住民等の訪問を受けることができなかった。</li> <li>・上記理由により利用者の希望に応えられていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・新型コロナの取り扱いが変更となる見込み(2類相当→5類)であることを踏まえ、感染状況にもよるが他部署とも連携し地域のサロン活動へ参加し交流を図る。また、地域行事への参加などの外出行事を企画したり、季節を感じていただける内容を中心に企画をして取り組む。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日（金）
7. 運営	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	10人	1人	1人	14人

前回の改善計画	・柔軟なサービス対応については日々の業務で取り組むことができているので、引き続き個々のニーズに則した柔軟なサービス提供を心がけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	小規模多機能型居宅介護の特徴である柔軟なサービス対応については日々の業務の中で十分に理解できしており、急遽の対応にもスムーズに受け入れることができている。一方で新型コロナ禍により地域の活動との連携機会を設けることができず、課題が残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	4人	6人	3人	1人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	10人	1人	1人	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2人	7人	2人	3人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1人	3人	1人	9人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>意見や苦情があった際はミーティング等を活用して共有するとともに、その日のうちに改善策を検討し対策をとっている。検討した内容は文書化し周知徹底を図っている。</li> <li>利用者が発する言葉を注意深く聞き、貴重な意見として共有し必要な改善を提案するようにしている。</li> <li>自分の考えを発言するようにしている。</li> <li>運営推進会議での意見を法人全体の取り組みに活かしている。</li> <li>職員間では意見を出して検討し、改善することができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため地域の方の出入りがなく、地域の方から直接意見を伺う機会がない。</li> <li>地域と協働した取組みを行うことができていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟なサービス対応については日々の業務で取り組むことができているので、引き続き個々のニーズに則した柔軟なサービス提供を心がけていく。</li> <li>新型コロナの取り扱いが変更となる見込み（2類相当→5類）であることを踏まえ、感染状況にもよるが地域交流カフェを再開したり、地域の行事に参加するなどの機会を創出する。</li> </ul>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日（金）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	3人	8人	2人	14人

前回の改善計画	・外部研修の案内を回覧するとともに、職員個々の自主研修計画に基づいて、該当する研修に参加できるように支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナ禍のため外部での研修機会が減り、業務都合もあり外部研修を活用することができなかった。法人の内部研修の機会を活用して資料を読み込んだり、日々の業務の振り返りを行うことで、質の向上に努めることはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1人	7人	4人	2人	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	3人	5人	5人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	1人	2人	11人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	9人	1人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・（内部研修は）研修会としての開催はないが、資料の確認や確認テストで知識の確認ができています。</li> <li>・オンラインで開催される研修はできるだけ参加している。</li> <li>・できる限り職場内の研修に参加している。</li> <li>・リスクマネジメントの取り組みとしてヒヤリハット事例をあげ、問題点をみつけるようにしている。</li> <li>・リスクについては常に意識して、事故につながらないように意識している。</li> <li>・誤嚥しないように利用者の状況に応じてトロミ剤の使用や食事形態について提案するようにしている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が続いていることにより小規模多機能型居宅介護の連絡会が実施できず、参加できていない。</li> <li>・参加したい外部研修があるが、コロナ禍であることや業務都合により出席できなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの取り扱いが変更となる見込み（2類相当→5類）であることを踏まえ、各スタッフによる自主研修計画の内容に基づき、外部研修への派遣を計画的に行う。</li> <li>・介護支援専門員協会をはじめとした各職能団体が主催する研修への受講をすすめる。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護連絡会が再開となれば、積極的に参加し情報交換を行う。</li> </ul>	

グレースケアあじさい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年10月28日(金)
9. 人権・プライバシー	メンバー	職員14名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	0人	0人	14人

前回の改善計画	<p>・法人内の研修プログラムに、日々の業務で不適切ケアになっていないかを振り返る機会を設けているので、その機会を活用して、スタッフ個々の関わりを振り返り、不適切ケアが起こらないように取り組む。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>事業所内研修にて高齢者虐待防止や身体拘束を行わないケアの方法、プライバシーについて研修を実施。資料を配布して確認をしている。内部研修の機会を活用して、自らの業務を振り返る機会を作り、専門職として自覚を持って対応できていた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14人	0人	0人	0人	14人
②	虐待は行われていない	14人	0人	0人	0人	14人
③	プライバシーが守られている	13人	1人	0人	0人	14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2人	3人	3人	6人	14人
④	適正な個人情報の管理ができています	8人	6人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報管理などでできている。名前等の記載があるものはシュレッダーで確実に処理している。</li> <li>不適切なケアになっていないか考えながらケアを行うように心掛けている。</li> <li>利用者の尊厳を損なわないように日々の生活の中で利用者の方の思いに添ったケアを心がけている。</li> <li>身体拘束のない介護ができている。</li> <li>高齢者虐待防止や身体拘束廃止について、内部研修で振り返り確認する機会があり、日ごろの業務に活用することができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度の理解はできているが、対象と考えられる方へのアプローチ方法がわかってない。</li> <li>書類が表向きになっているなど、個人情報が他者の目に入るところに置いてあることがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・引き続き法人内の研修プログラムに、日々の業務で不適切ケアになっていないかを振り返る機会を設けているので、その機会を活用して、スタッフ個々の関わりを振り返り、不適切ケアが起こらないように取り組む。</p>	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	15 人	0 人	0 人
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	15 人	0 人	0 人
3	前回の改善計画に対して、具体的な取り組みが行われていましたか？	14 人	0 人	1 人
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	11 人	0 人	4 人

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？  【前回の改善計画】 引き続き劣化部分の点検をして、必要な箇所の修繕、物品購入により、過ごしやすい生活空間を作る。	12 人	0 人	3 人
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	14 人	0 人	1 人
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	14 人	0 人	1 人
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	14 人	0 人	1 人
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	14 人	0 人	1 人

グレースケアあじさい

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？  【前回の改善計画】 新型コロナ感染対策をしながら、受け入れ可能はボランティア活動から順に受け入れを進めていく。	12人	1人	2人
1	職員はあいさつできていますか？	15人	0人	0人
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	15人	0人	0人
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	14人	0人	1人
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	14人	1人	0人

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？  【前回の改善計画】 新型コロナ感染状況も踏まえ、可能であれば外出行事も計画するとともに、季節感のある行事内容やレクリエーション活用を実施する。	11人	0人	4人
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	12人	1人	2人
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	10人	1人	4人
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6人	0人	9人
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4人	2人	9人

グレースケアあじさい

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 地域の感染状況を考慮しつつ、可能な限り会議を開催し意見交換ができるようにする。	11人	0人	4人
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	11人	0人	4人
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4人	0人	11人
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8人	0人	7人
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8人	0人	7人

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
	【前回の改善計画】 法人全体として BCP においても災害発生時等における地域連携が必要となることから、地元地区の協力を仰ぎ、非常災害時における協力体制について検討をしていく。	8人	0人	7人
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7人	1人	7人
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	10人	1人	4人
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4人	1人	10人
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	9人	0人	6人

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	15人	0人	0人
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	15人	0人	0人
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	14人	0人	1人
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	11人	0人	4人

**【上記4つのチェック項目に関する意見】**  
 ※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

日頃から利用者の状況を定期的に報告してもらったり、連絡ノートでやりとりをするなど、細やかに情報提供してくれているので様子がよくわかってよい。

---

**【前回の改善計画に対して意見】**

基本的な感染対策を徹底することで、現時点で感染症の発症及び蔓延を予防することができている。  
 面会中止中はオンライン面会を推奨しているが、操作方法が難しいからか、利用がしにくい面がある。

---

**【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】**  
 ※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

特になし。

---

**【「自己評価」をテーマにした自由意見】**

特になし。

---

**【改善計画】※後日記入**

新型コロナの取り扱い変更後、地域の感染状況を踏まえて、新型コロナ禍前の状況に戻していく。日頃の生活状況等、情報提供ができるように生活の様子や行事などの写真を提供する。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	12人	0人	3人
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	11人	0人	4人
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4人	0人	11人
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8人	0人	7人
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8人	0人	7人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

概ね良いとの評価であったが、新型コロナ禍で事業所内に入ることができにくい状況が続いているため「わからない」という回答も多数あった。

【前回の改善計画】

引き続き劣化部分の点検をして、必要な箇所の修繕、物品購入により、過ごしやすい生活空間を作る。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

感染予防対策により施設内に入ることができないため、生活環境がどのようになっているかを目にする機会がなくわからないが、日用品を持参したりする時にも訪問しやすい雰囲気医ではあるので、引き続き生活環境を整えてサービス提供してもらいたい。

【今回の改善計画】※後日記入

引き続き劣化部分の点検をして、必要な箇所の修繕、物品購入により、過ごしやすい生活空間を作る。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	12人	1人	2人
1	職員はあいさつできていますか？	15人	0人	0人
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	15人	0人	0人
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	14人	0人	1人
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	14人	1人	0人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

概ね良好な評価であったが、新型コロナ禍のため地域に出向いていく活動ができにくい状況であったため、問4は「わからない」との回答が多数であった。

【前回の改善計画】

新型コロナ感染対策をしながら、受け入れ可能はボランティア活動から順に受け入れを進めていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

新型コロナ感染予防のため、昨年引き続きあじさい喫茶を中止せざるを得ず、地域との交流する機会をもつことができなかった。

【改善計画】※後日記入

地域の感染状況を踏まえ徐々に元の活動に戻していくことができる見込みであるため、コロナ禍以前のようにボランティア活動の受け入れを進めていきたい。

D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11人	0人	4人
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	12人	1人	2人
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	10人	1人	4人
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6人	0人	9人
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4人	2人	9人

**【上記5つのチェック項目に関する意見】**

新型コロナ禍により面会や外出ができにくい状況であったため、サ高住入居で小規模多機能型居宅介護登録者については、不自由な生活となってしまった。

また、事業所内での行事など活用の様子の情報発信をより積極的に行っていく必要があると感じている。

**【前回の改善計画】**

新型コロナ感染状況も踏まえ、可能であれば外出行事も計画するとともに、季節感のある行事内容やレクリエーション活用を実施する。

**【「地域に向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】**

特になし。

**【改善計画】**

新型コロナ感染状況も踏まえ、外出行事も計画するとともに、季節感のある行事内容やレクリエーション活用を実施する。また、行事など活用の様子の情報発信をより積極的に行っていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	11人	0人	4人
1	運営推進会議では、事業所の取組みが分かりやすく説明されていますか？	7人	0人	4人
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	11人	0人	4人
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4人	0人	11人
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	8人	0人	7人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

今年度は感染予防対策を講じたうえで全6回開催することができた。  
 会議を開催することにより、日々の事業所の取組みを報告するとともに、会議で助言を得ることができた。

【前回の改善計画】

地域の感染状況を考慮しつつ、可能な限り会議を開催し意見交換ができるようにする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

運営推進会議のチラシを作成し、開催1ヶ月前に郵送で案内を送付しているが、家族の参加を得ることができていない現状がある。

【改善計画】

案内を文章で配布後に口頭での案内をして、気軽に参加できるようにする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8人	0人	7人
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	7人	1人	3人
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	7人	1人	7人
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	10人	1人	4人
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4人	1人	10人

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所内の防災、災害対策については年間計画に基づき実施することができた。今後 BCP に基づいた非常災害対策や地域との連携について具体的な対策が必要である。

【前回の改善計画】

法人全体として BCP においても災害発生時等における地域連携が必要となることから、地元地区の協力を仰ぎ、非常災害時における協力体制について検討をしていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

地元地区でも非常災害時の対策について話をしていることもある。行政委員と防災リーダーを兼ねていることもあり、非常災害対策において地元地域と連携を深めてはどうか。

【改善計画】

法人全体として BCP においても災害発生時等における地域連携が必要となることから、地元地区の協力を仰ぎ、非常災害時における協力体制について検討をしていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 誠和	代表者	赤島 耕一路	法人・事業所の特徴	当法人は高齢者総合福祉施設として 27 年の運営実績があり、特別養護老人ホームを中心に多様なサービス事業所を展開することで、住み慣れた地域で個々の状況に合わせたサービス事業所を選択していただくことが可能である。また、企業主導型保育事業介護職員初任者研修など、地域のニーズに即した地域福祉の向上に法人全体で取り組んでいる。
事業所名	グレースケアあじさい	管理者	久米 秀幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	人	人	人	2人	人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新型コロナウイルス感染対策の継続。家族へ日頃の様子など常に伝えられるようにして、面会ができなくて中の様子がわからないことで不安に感じないように伝える。	基本的な感染対策を徹底することで、現時点で感染症の発症及び蔓延を予防することができている。面会中止中はオンライン面会を推奨したが、操作方法が難しいからか利用がしにくい面がある。		新型コロナの取り扱い変更後、地域の感染状況を踏まえて、新型コロナ禍前の状況に戻していく。日頃の生活状況等、情報提供ができるように生活の様子や行事などの写真を提供する。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き劣化部分の点検・修繕と必要物品を購入で過ごしやすい生活空間を作る。	施設内の建物・備品の故障、修繕箇所を確認して、劣化している部分の修繕と修理を実施した。	感染予防対策により施設内に入ることができないため、生活環境がどのようになっているかを目にする機会がなくわからないが、日用品を持参したりする時にも訪問しやすい雰囲気ではあるので、引き続き生活環境を整えてサービス提供してもらいたい。	引き続き劣化部分の点検をして、必要な個所の修繕、物品購入により、過ごしやすい生活空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	ボランティアや地域交流(あじさい喫茶)などの地域交流は、状況みながら段階的に受け入れができるように進める。	新型コロナ感染予防のため、ボランティアの受け入れや地域交流(あじさい喫茶)の開催は全て中止することとなった。	新型コロナ感染予防のため、昨年引き続きあじさい喫茶を中止せざるを得ず、地域との交流する機会をもつことができなかった。	地域の感染状況を踏まえ徐々に元の活動に戻していくことができる見込みであるため、コロナ禍以前のようにボランティア活動の受け入れを進めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	年間計画に沿った行事内容を実施。季節を感じていただける内容で、毎月の行事計画を立て実施する。また、感染症対策を継続しながらレクリエーション活動の充実を図る。	新型コロナ感染予防のため、地域交流を目的とした外出を計画することができなかったが、事業所内で季節感のある行事内容で行事を実施することができた。	特になし。	新型コロナ感染状況も踏まえ、外出行事も計画するとともに、季節感のある行事を計画する。また、行事など活用の様子の情報発信をより積極的に行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の感染状況を考慮しつつ、可能な限り会議を開催し意見交換ができるようにする。	感染予防対策を講じたうえで全 6 回開催することができた。会議を開催することにより、日々の事業所の取り組みを報告するとともに会議で助言を得ることができた。	運営推進会議のチラシを作成し、開催 1 ヶ月前に郵送で案内を送付しているが、家族の参加を得ることができていない現状がある。	案内を文章で配布後に口頭での案内をして、気軽に参加できるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	非常災害対策計画を立て、必要なサービスが安定的に継続できるようにする。	火災想定、地震想定避難訓練の実施と消火技術訓練を定期的に行っている。また、福祉避難場所として台風接近での要介護者の避難受け入れを行っている。	地元地区でも非常災害時の対策について話していることもある。行政委員と防災リーダーを兼ねていることもあり、非常災害対策において地元地域と連携を深めてはどうか。	法人全体として BCP においても災害発生時等における地域連携が必要となることから、地元地区の協力を仰ぎ、非常災害時における協力体制について検討をしていく。

グレースケアあじさい